

ごあいさつ

皆様におかれましては、時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年11月26日（金）と27日（土）に金沢大学附属病院・外来棟宝ホールにおいて、ほくりく健康創造クラスター事業・金沢大学子どものこころの発達研究センター・連合大学院小児発達学研究所金沢校・金沢大学JST研究プロジェクト・金沢大学JSPS研究プログラム共催による、第1回金沢大学子どものこころサミットを開催する運びになりましたことは、関係者の1人として誠に喜びに絶えません。

“子どものこころの医学”が、21世紀に入り国内外において世論の大きな関心を得ていることは、皆様のご承知の通りでございます。我が国においては深刻な少子化・人口減少を背景として、子どものこころの問題が国家的課題として注目されております。また、最新の国内外の疫学調査では、自閉症関連疾患の生涯有病率が1-2%と、以前よりかなり増加していることが相次いで報告されております。

一方、最近の科学研究の進歩により、子どものこころの疾患に限らず成人発症のこころの病の病因においても、“脳の発達機能の異常”が関与していることが科学的論拠により説得力を持って説明できるようになりました。つまり、こころの病全般の早期発見・早期治療・予防においても、“子どものこころの医学”の重要性が今後益々脚光を浴びることは間違いありません。このたび金沢大学関連の志を同じくする5グループの共催のもと我が国のこの方面の傑出した人材が集い、またすべてのプログラムが市民公開であることから、研究者・市民・行政・企業の多方面からの活発な意見交換がされることを大いに期待しております。そしてこのサミットが北陸地域から全国さらには国際的な議論へと発展していくことを願っております。なにとぞ本サミットにご参加賜り、皆様方の忌憚なきご意見ご指導を心よりお願い申し上げます。

古都金沢は、伝統と文化の背景があり、さらに衣食住の自然環境に恵まれ、学都として観光都市としてわが国でも最上級の位置にあると自負しております。この機会にぜひ古都金沢の風情をご堪能頂ければ幸いです。どうぞ、よろしく願い申し上げます。

平成22年8月吉日

第1回子どものこころサミット実行委員長

三 邊 義 雄